

麹町協会「ミサがわかるセミナー」2023～2024 シリーズ
《年間テーマ》

ミサを通して神を学ぶ ～新しい式次第とともに！

第3回 ともにおられる、いつくしみ深い神

2023年9月10日 石井祥裕

はじめに

今回のシリーズは、導入編に続いて、すべて「神」をテーマとし、ミサの式次第と式文を順序に従って把握するだけでなく、これらの全体を通して、教会が信じる神がどのような方か、キリストがどのような方かをあらためて学んでいきます。このことを告げ知らせる宣教的な役割が典礼には含まれているからです。式文に含まれている、より深い意味を味わっていくことにしましょう。

☆参考聖書箇所 一ペトロ2:9

「9.....あなたがたは、選ばれた民、王の系統を引く祭司、聖なる国民、神のものとなった民です。それは、あなたがたを暗闇の中から驚くべき光の中へと招き入れてくださった方の力ある業を、あなたがたが広く伝えるためなのです。」

第1部 ともにおられる神

◎関連式文

「父と子と聖霊のみ名によって。アーメン」

→「み名によって」 (in nomine) ← 前置詞 in = 「～によって」 (依って・拠って・因って・由って)
「～のうちに」「に結ばれて」

☆参考聖書箇所：「主の御名を呼び始めたのは、この時代のことである」 (創世記4:26)

「アブラムは.....そこにも主のために祭壇を築き、主の御名を呼んだ」 (創世記12:8)

「彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け.....なさい。

わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいる」 (マタイ28:19-20)

※主の名、神の名、イエス・キリストの名を呼ぶこと 礼拝の根本的な姿
神がともにおられる方であり、人に出会う方、かかわる方であることが前提

◎関連式文

あいさつ対話句

〔開祭〕司祭： 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆さんとともに。

(または) 父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が皆さんとともに。

(または) 主は皆さんとともに。

会衆： またあなたとともに。

〔福音朗読の導入〕〔奉献文の導入〕〔派遣の祝福の導入〕

司祭： 主は皆さんとともに。

会衆： またあなたとともに。

〔平和のあいさつ〕

司祭： 主の平和がいつも皆さんとともに。

会衆： またあなたとともに。

☆参考聖書箇所：

*旧約の背景：神の民の間でのあいさつ句（ルツ2・4）

「主があなたたちと共におられますように。」—「主があなたを祝福してくださいますように。」
主である神がともにおられることをともに確認し合う対話句

*新約聖書のパウロの手紙の初め、終わりのあいさつ

「わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。」
（ローマ1・7等）⇒上記2の唱句

「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。」
（二コリント13・13）⇒上記1の唱句

他例「わたしたちの主イエス・キリストの恵みがあなたがたの霊と共にあるように。」（ガラテヤ6・18）

他の参考箇所：一テサロニケ5:10

「10 主は、わたしたちのために死なれましたが、それは、わたしたちが、
目覚めていても眠っていても、主と共に生きるようになるためです。」

第2部 天におられる神

ともにおられるというとき、人間同士が同じように同じ場所に居合わせているわけではない

「秘跡的現存」：神、キリストは天（神ご自身の次元）にありつつ、
地上のしるしをもって神の民とともにいるということ

◎関連式文

開祭のあいさつ — 「いつくしみの賛歌（キリエ）」 「栄光の賛歌（グロリア）」

「いつくしみの賛歌」の「主よ」

「栄光の賛歌」

天には神に栄光、地にはみ心にかなう人に平和。

神なる主、天の王、全能の父なる神よ。

わたしたちは主をほめ、主をたたえ、主を拝み、主をあがめ、
主の大いなる栄光のゆえに感謝をささげます。

主なる御ひとり子イエス・キリストよ。神なる主、神の小羊、父のみ子よ。

世の罪を取り除く主よ、いつくしみをわたしたちに。

世の罪を取り除く主よ、わたしたちの願いを聞き入れてください。

父の右に座しておられる主よ、いつくしみをわたしたちに。

ただひとり聖なるかた、すべてを越える唯一の主、イエス・キリストよ、

聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。アーメン。

福音朗読導入のあいさつ ← アレルヤ唱・詠唱

奉献文の導入のあいさつ ← 「感謝の賛歌（サンクトゥス）」

叙唱の結び（例）神の威光をあがめ、権能を敬うすべての天使とともに、
わたしたちもあなたの栄光を終わりなくほめ歌います。

感謝の賛歌 聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。

主の栄光は天地に満つ。

天には神にホザンナ。

主の名によって来られるかたに賛美。

天には神にホザンナ。

奉献文（本文）一第二、第三一の冒頭句と聖霊の働きを願う祈り

（第二奉献文）まことに聖なる神、すべての聖性の源である父よ、いま、聖霊によって、この供えものを聖なるものとしてください。

（第三奉献文）聖なる父よ、あなたにささげるこの供えものを、いま、聖霊によって聖なるものとしてください。

※奉献文全体を通しての天の神との交わりに留意

交わりの儀：主の平和のあいさつ → 「平和の賛歌（アニュス・デイ）」

世の罪を取り除く神の小羊、いつくしみをわたしたちに。

世の罪を取り除く神の小羊、いつくしみをわたしたちに。

世の罪を取り除く神の小羊、平和をわたしたちに。

派遣の導入のあいさつ→派遣の祝福

全能永遠の神、父と子と聖霊の祝福が皆さんの上にありますように。

☆参考聖書箇所：わたしたちの主イエス・キリストの次元について

フィリピ 2:6-11 :

6キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、7かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、8へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。9このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。10こうして、天上のもの、地上のもの、地下のものがすべて、イエスの御名にひざまずき、11すべての舌が、「イエス・キリストは主である」と公に宣べて、父である神をたたえるのです。

エフェソ 1:3, 8-10 :

3わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。……8神はこの恵みをわたしたちの上にあふれさせ、すべての知恵と理解とを与えて、9秘められた計画をわたしたちに知らせてくださいました。これは、前もってキリストにおいてお決めになった神の御心によるものです。10こうして、時が満ちるに及んで、救いの業が完成され、あらゆるものが、頭であるキリストのもとに一つにまとめられます。天にあるものも地にあるものもキリストのもとに一つにまとめられるのです。

エフェソ 1:20-23 :

20神は、この力をキリストに働かせて、キリストを死者の中から復活させ、天において御自分の右の座に着かせ、21すべての支配、権威、勢力、主権の上に置き、今の世ばかりでなく、来るべき世にも唱えられるあらゆる名の上に置かれました。22神はまた、すべてのものをキリストの足もとに従わせ、キリストをすべてのものの上にある頭として教会にお与えになりました。23教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。

コロサイ 3:1-4 :

1さて、あなたがたは、キリストと共に復活させられたのですから、上にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが神の右の座に着いておられます。2上にあるものに心を留め、地上のものに心を引かれないようにしなさい。3あなたがたは死んだのであって、あなたがたの命は、キリストと共に神の内に隠されているのです。4あなたがたの命であるキリストが現れるとき、あなたがたも、キリストと共に栄光に包まれて現れるでしょう。

第3部 いくつしみ深い神

◎関連式文

いくつしみの賛歌（キリエ）

主よ、いくつしみを。主よ、いくつしみをわたしたちに。
キリスト、いくつしみを。キリスト、いくつしみをわたしたちに。
主よ、いくつしみを。キリスト、いくつしみを。

栄光の賛歌（上述）

平和の賛歌（上述）

従来「あわれみたまえ」

回心の祈り（罪のゆるしを祈る）

全能の神、いくつしみ深い父がわたしたちの罪をゆるし、
永遠のいのちに導いてくださいますように。

従来「全能の神が、わたしたちをあわれみ、罪をゆるし、
永遠のいのちに導いてくださいますように」

主の祈りの副文

いくつしみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、世界に平和をお与えください。
あなたのあわれみに支えられて罪から解放され、すべての困難に打ち勝つことができますように。
わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望んでいます。

☆参考聖書箇所：

「いくつしみをわたしたちに」について

詩編 118: 25-26 「25どうか主よ、わたしたちに救いを。

どうか主よ、わたしたちに栄えを。

26祝福あれ、主の御名によって来る人に。」（→ 感謝の賛歌の背景）

※「どうか、救いを」（ホーシアンナー）→「ホザンナ」 嘆願句が賛美句になっていく事例

キリエ・エレイソン 「主よ いくつしみを／あわれみを」：嘆願句→賛美句

「いくつしみ・あわれみ・恵み」について

詩編51・3（新共同訳） 「神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。」

（典礼訳） 「神よ、いくつしみ深く、わたしを顧み（てください）」

詩編57・2（新共同訳） 「憐れんでください。神よ、わたしを憐れんでください。」

（典礼訳） 「神よ、わたしをあわれみ、いくつしみをわたしの上に」

詩編86・15（新共同訳） 「主よ、あなたは情け深い神、憐れみに富み、
忍耐強く、慈しみとまことに満ちておられる」

（典礼訳） 「主よ、あなたはあわれみに満ち、恵み深い神、
怒るにおそく、いくつしみとまことにあふれておられる」

詩編145・8（新共同訳） 「主は恵みに富み、憐れみ深く、忍耐強く、慈しみに満ちておられます」

（典礼訳） 「あなたは恵みとあわれみに満ち、怒るに遅く、いくつしみ深い」

*

*

*

◎参考新刊 日本カトリック典礼委員会編『感謝の祭儀を祝う 新しい「ミサの式次第」解説』
「補遺1 いくつしみの賛歌（キリエ）について」

（カトリック中央協議会 2023年8月6日）